

生徒・保護者・教職員・地域が、

『小国高に来て良かった 小国高にやって良かった 小国高に勤めて良かった
そして、小国高がここにあって良かった』と思える学校に…。

～「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育の実現を目指して～



“生徒たちが笑顔で登校し、夢の実現が叶う学校”

校長 打越 博臣

本校は、大正11年（1922年）設立の南小国村・北小国村組合立実科高等女学校が前身であり、幾多の変遷を経て、昭和26年（1951年）3月に熊本県立小国高等学校として独立しました。そして、令和4年（2022年）に創立100周年を迎えます。

これまでの卒業生は9,759人。小国郷の温かい人情が織りなす歴史文化と大自然の中で心豊かに育った卒業生たちは、綱領の「尚志」・「勉学」・「自主」の精神の下、ひたむきな努力と挑戦を続けることで、それぞれの夢の実現を叶えてきました。

現在本校は、小国郷唯一の高等学校として、更なる魅力化と発展を図るため、「挑戦」をテーマに取り組んでいます。教師は、「教師が挑戦する、生徒の挑戦を支援する」と題して、生徒たちの「夢」の実現が叶うように心を一つにして取り組み、生徒たちは、「大いに学び、大いに鍛えることへの挑戦」と題して、授業や部活動などの場で精一杯挑戦し、確かな成長を手に入れ、自分の未来を大きく切り拓き、夢を叶えるため努力をしています。

高校3年間は自分の可能性を見出す大切な時間です。生徒一人一人の夢の実現に向けて、愛情と情熱をもって全力でサポートするのが本校の教育です。皆さんも、小国高で一緒に夢を育て、叶えませんか。



小国高校の一員として

生徒会長 野口 駿太郎

小国高校は「尚志」「勉学」「自主」の三綱領を日々意識して学校生活を送っています。小国高校は生徒数が少ないですが、勉学・行事・部活動で生徒一人一人が主役となり、輝ける学校です。

先生方は学習の質問や進路の相談に親身になって一人一人に向き合ってくれます。行事では、体育大会やクラスマッチなどがあり、生徒一丸となって全力で楽しく取り組んでいます。少人数だからこそ先輩後輩の交流が増え、仲が良いというのも小国高校の特徴です。

部活動では、運動部、文化部、サークルそれが技術の向上を目指し切磋琢磨しています。小国高校は運動部、文化部だけでなく文化系のサークルも多く、自分の好きな部活動・サークルが見つかり、充実した活動ができます。

小国高校は毎日生徒の笑い声が聞こえるとても良い学校です。地域との交流も多く、文化祭では毎年、地域の方、他校の生徒、多くの方々に楽しんでいただいています。2022年に創立100周年を迎える小国高校で、私達は今までの伝統を繋いでいきながら、新しいことに挑戦する意識を高め、さらに魅力ある学校を作っていくきます。

私達と一緒に小国高校で夢へ向かって進みましょう。

年間行事

4月

- ◆入学式
- ◆始業式
- ◆対面式
- ◆部紹介
- ◆新入生宿泊研修
- ◆阿蘇菊鹿大会



5月

- ◆体育大会
- ◆新体力テスト
- ◆中間考査
- ◆高校総体



6月

- ◆生徒会役員選挙
- ◆期末考査



7月

- ◆クラスマッチ
- ◆インターナショナル

